１．検証の３つの目的

本委員会は、検証の目的として、以下の３点を定めた。

（１）原子力発電のコストの徹底検証

今回の東電福島第一原発の事故を踏まえて、従来、低廉であるとされてきた原子力発電の発電コストについて、これまでは隠れていたコストがあるのではないかという視点から、徹底的に検証する。

（２）再生可能エネルギーをはじめとする原子力以外の電源のコストの再検証

原子力発電への依存度低減のシナリオを検討するにあたり、現在はまだ主要電源とはなっていない再生可能エネルギーやコジェネなども含めたその他の電源の将来の可能性もあわせて検証する。

（３）来春に提示する原発への依存度低減のシナリオを検討するための客観的データの提供

革新的エネルギー・環境戦略の策定に向けて、来春に新たなエネルギーミックスのためのシナリオを複数の選択肢として提示し、国民的な議論を行っていくことになっている。そのために、客観的かつ透明性の高い発電コストに関するデータを、国民にも分かりやすい形で提供する。